

科目名	総合義肢装具学					授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制4年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
義肢装具士国家試験に合格できる知識を十分有することを聞く事により確かめる。特に国家試験過去問題集の反復。									
〔授業全体の内容の概要〕									
これまで行ったすべての講義、実習、演習の振りりを行い、国家試験合格レベルの知識と解法の再整理を行う。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
国家試験合格レベルの知識と解法の習得すること。 知識の体系化・深化の意義と、臨床との繋がりをイメージすること。									
回数	講義内容								
1	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
2	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
3	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
4	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
5	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
6	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
7	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
8	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
9	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
10	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
11	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
12	義肢装具総合模擬試験、各種対策								
13	義肢装具総合最終試験								
14	義肢装具総合最終試験								
15	義肢装具総合最終試験								

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
配布資料		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

模擬試験、及び最終試験の評価